

“逃げる”に役立つ情報の入手方法

事前に学ぶための情報 —自分の水害リスクを確認しよう！

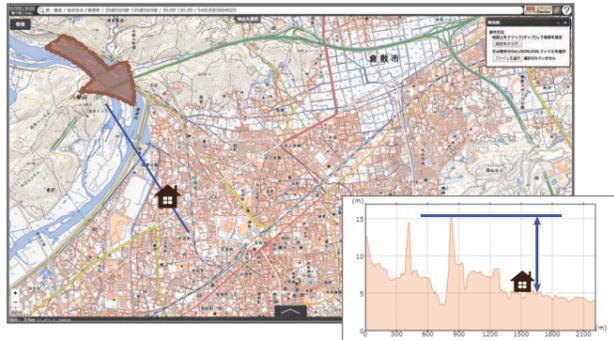
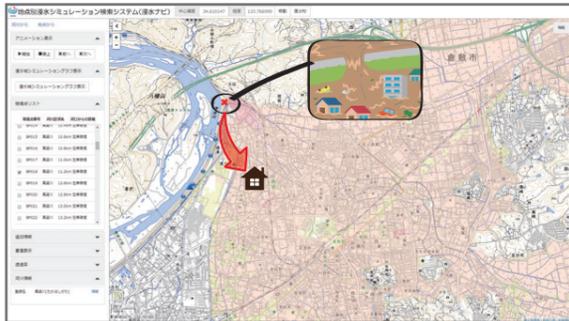
浸水ナビ
(地点別浸水シミュレーション検索システム)
https://suiboumap.gsi.go.jp/

どこが破堤したら自分の家が浸水するのか、また
氾濫水が到達するタイミングや深さが分かる
ある地点が決壊したら、どこまで氾濫水が来るか
が分かる



地理院地図
土地の高さから見る水害リスク
https://maps.gsi.go.jp

堤防と自分の家を通る断面図で高さを比較するこ
とで、自宅が堤防よりどのくらい低いか分かる
避難経路の高低を断面で見ること、浸水しやす
い低い場所を通っていないか確認できる

洪水時に危険を知るための情報 —自宅の近くの川の水位を確認しよう！

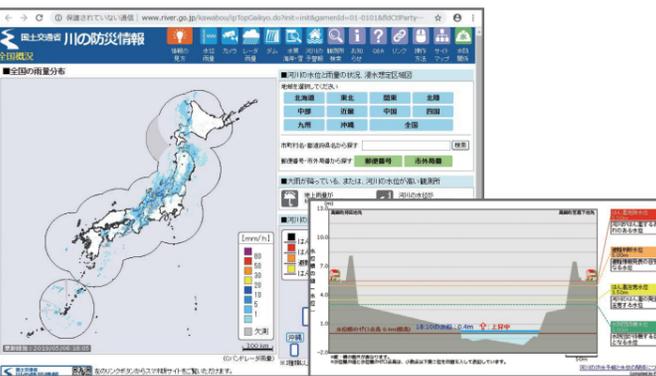
川の防災情報
川の水位・雨の降り方
https://www.river.go.jp/

自分の家の近くの川のリアルタイムの水位や、水
位の変化の状況が、グラフやライブカメラの映像
で分かる
上流の川の水位や雨の降り方などが分かる



川の水位情報
川の水位
https://k.river.go.jp

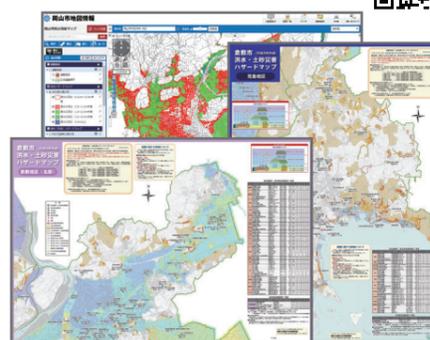
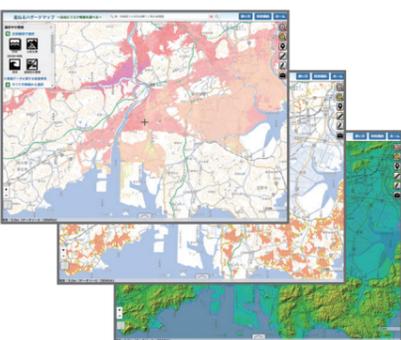
近年水害が頻発している中小河川などで設置が
進んでいる、簡易型の水位計の情報が見られる
堤防の高さと自宅付近の地盤の高さが確認でき、
水害に対する危険度が分かる

逃げ方を考えるための情報 —安全な避難先を確認しよう！

ハザードマップポータルサイト
浸水深などの水害リスク・避難所などの防災情報
https://disaportal.gsi.go.jp/

想定浸水深や土地の高低差などのリスク情報や避難所などを地図に重ねて見られる(重ねるハザードマップ)
町の名前などから、全国の市区町村が作成したハザードマップを検索できる(わがまちハザードマップ)

逃げキッドの内容・入手方法等のお問い合わせはこちらへ

国土交通省 中国地方整備局
岡山河川事務所
〒700-0914 岡山市北区鹿田町 2-4-36
電話 (086) 223-5101
e-mail: info-okakawa@cgr.mlit.go.jp

高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
〒710-1301 倉敷市真備町筋田 1141-1
電話 (086) 397-1020
e-mail: info-takaoda@cgr.mlit.go.jp

—逃げキッドを使って—

マイ・タイムライン

をつくろう！

逃げ遅れゼロへ！



マイ・タイムラインってなに？
マイ・タイムラインは、河川の氾濫が起き
そうな時に、余裕をもって逃げるために事
前に考えておく、一人ひとりの生活にあっ
た、オリジナルの避難行動計画です。
「逃げキッド」は、そんなマイ・タイムラ
インを作るお手伝いをするための入門的な
ツールです。
川が氾濫するまでの一連の流れを理解し、
発信される情報の種類や入手方法、使い方
を知ること、どのタイミングでどのよう
な準備をしておくかを考え、整理すること
ができます。

☆ 逃げキッドの使い方やタイムラインの考え方を解説した、「逃げキッド使い方ガイド」という動画も配信されています。下記のQRコードからご覧ください。

Youtube
逃げキッド使い方ガイド
下館河川事務所提供



※本動画は、鬼怒川・小貝川版の逃げキッドの使い方を示しており、本キッドの内容と若干異なります。



マイ・タイムラインの作り方



「逃げキッド」で、3つのステップでマイ・タイムラインをつくることができます。

Step 1 洪水による自分の水害リスクをチェック



「マイ・タイムライン作成のためのチェックシート」を使って、あなたの家の状況を確認しましょう。

しらべる

マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

洪水ハザードマップや浸水想定区域図等でチェック

あなたの住んでいる場所の浸水深は？

あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？

あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか？

家庭の状況チェック

車、ペット、持病薬、避難に支援が必要な人

避難先のチェック

あなたが避難する場所

水害リスクをチェック

「洪水浸水想定区域図」で、①～③のことが分かります。

- ① 河川が氾濫したときの水深
- ② 浸水がどのくらいの時間続くのか
- ③ 堤防が決壊した時に、家を壊すほどの力で水が流れると考えられる範囲

あなたの家にどのような水害リスクがあるのかを確認して、「マイ・タイムライン作成のためのチェックシート」に書き込みましょう。

「洪水浸水想定区域図」は、国土交通省や都道府県のホームページで見ることができます。

浸水ナビ

洪水浸水想定区域図 ○○川

ポイント! この他にも、浸水しやすい低い場所を調べる方法などをパンフレットの裏面で紹介しています。

避難先をチェック

ハザードマップなどで、自分が避難する先や、安全に逃げられる道順と、どのくらい時間がかかるか確認して、チェックシートに書き込みましょう。

「洪水ハザードマップ」は、市区町村で配布していたり、ホームページで見ることができます。

ハザードマップ ポータルサイト

ハザードマップ ○○市/区/町/村



Step 2 川が氾濫する前に備えるべき行動をチェック



「資料1」と「資料2」を使って、あなたの家の状況を確認しましょう。

まなぶ

台風発生から川が氾濫するまでの段階をイメージする

資料1

「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまで

3日前、1日前、半日前、7時間前、5時間前、3時間前、0時間

① 台風や前線が発生

② 台風や前線が近づいて、雨や風が強くなる

③ 雨が降り、川の水がどんどん増える

④ 激しい雨で、川の水がどんどん増え、河川敷にも水が溢れる

⑤ 川の水がいっぱいであふれそう

⑥ 川の水が氾濫

かんがえる

避難するための備えを、どんな順番で準備するか、並べかえてイメージする

資料2

「川の水が氾濫」するまでの主な備え

3日前、2日前、1日前、7時間前、5時間前、3時間前、0時間

Q1 台風や前線の発生を調べる?

Q2 避難するときに使うものは?

Q3 どこを避難する?

Q4 川の水位をどうやって調べる?

Q5 どんな備えを準備する?

Q6 避難するときに使うものは何か? 事前に確認しておく!

備えの順番には、これが絶対!という正解はありません。それぞれの状況に合った順番を考えておくことが大事です。



Step 3 マイ・タイムラインをつくってみよう!



つくる

受け取れる情報をもとに、避難のタイミングをイメージして準備する

マイ・タイムラインをつくってみよう!!

市区町村が避難情報を発令するタイミングを調べて、左側の欄に緑色のシールを貼りましょう。

Step2 とそなえの例を参考に、どのタイミングで何をするか、シールを貼ります。シールに書いていないことがあったら、自分で書きこんで、充実させていきましょう。

「マイ・タイムラインを作ってみよう!!」を使って、オリジナルの行動計画、マイ・タイムラインを作りましょう。

ポイント! 完成したら、いつでも見える所に貼っておきましょう!

マイ・タイムラインを見直そう!

マイ・タイムラインは、一度作ったら終わり、というものではありません。まち歩きをして、避難路を再確認したり、ご近所の方と相談しながら、今のご自身の生活に合わせて、マイ・タイムラインを見直していくことが大切です。

